

出前講座報告書

Vol.4



日 時:2016年10月13日
開催場所:相双保健福祉事務所

テーマ

「実践で使えるデータ分析の知識とスキル」

データ分析のスキルは、地域住民のニーズを把握するためにも、実施した事業を評価するためにも必要となる技術です。データ分析のスキルを用いてつくるエビデンスは、よりよい保健サービスを提供するための指針となります。



復習ポイント

- ・ データを作成するポイントは？
- ・ 平均値と中央値の使い分けは？
- ・ 表、棒グラフ、線グラフ、ヒストグラムを使い分けは？
- ・ OpenEpiを使ってカイ2乗検定を試してみましょう。

講師紹介



福島県立医科大学
総合科学教育研究センター
後藤 あや

平成7年山形大学医学部卒業。平成10年米国ハーバード大学公衆衛生大学院修士課程（国際保健学）修了、平成12年山形大学大学院医学研究科博士課程（公衆衛生学）修了後、米国ポピュレーション・カウンシルのベトナム支部勤務を経て、平成14年より福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座、現在、准教授。福島県の県民健康調査「妊産婦に関する調査」の副室長兼任、日本公衆衛生学会モニタリング・レポートシステム委員。平成24年から1年間、ハーバード大学公衆衛生大学院武見国際保健プログラム研究員。専門領域は、母子保健、国際保健、疫学、人材育成。

講義と演習の様子



演習が中心の講義で、代表値の算出、基本的な検定方法、そしてグラフの使い分けについて学びました。検定の演習では、手軽にスマホでも分析できるようOpenEpiを紹介しました。



OpenEpi

<http://www.openepi.com>

Start Enter Results Examples Help

Clear Settings Conf. level=95% Calculate
Add Stratum Stratum 1 Delete Stratum

Open Epi 2 x 2 Table				
	Disease		Totals	
	(+)	(-)		
Exposure	(+)	10	20	30
	(-)	20	30	50
Totals	30	50	80	

アンケート集計結果

参加者は18名、アンケート回収は18名でした。

評価項目	(そう)思う(※)
研修の資料や進行について	
配布資料は適切だった	100%
時間配分は適切だった	94%
進行は適切だった	100%
研修の内容について	
講義内容について理解できた	94%
講義は今後の保健活動に役立つと思う	100%
話し合いは今後の活動に役立つと思う	94%
学んだことを同僚に伝えたいと思う	94%

* 5段階評価：「1. 全くそう思わない」～「5. 大いにそう思う」の4と5の合計

編集後記

出前講座の新しいテーマとしてこのデータ分析を入れたところ、募集開始直後にお申込みいただきましてありがとうございます。今回の講義内容は、感染症専門誌「インフェクションコントロール」11月号と12月号にまとめて掲載しています。もしご関心ありましたらご覧ください。

(後藤)

Organized by FMU



性差医療センター
災害医療総合学習センター
医療人育成・支援センター
総合科学教育研究センター
公衆衛生学講座



本ニュースレターのデザインはご当地シリーズです。

出前講座は「福島県保健師現任教育指針」の枠組みで行っています。

